

8-1-8 広報戦略委員会

1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値を国民に周知理解されていないのが現状と言える。

一方、優秀な若者が興味と期待を持って活躍できる活性化した産業として、業界の担い手確保という観点から建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」、「経済活動」、「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解してもらう工夫が必要である。

そのため、社会インフラの必要性・意義と、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

2. 主な活動の記録

(1) 第1回広報戦略委員会(平成29年7月)

平成28年度の支部広報活動を振り返るとともに、下部組織である3つの専門委員会の活動計画と活動内容を確認した。

- a) 平成28年度における支部広報活動のとりまとめ報告
- b) 平成29年度広報戦略委員会の活動方針とスケジュール確認、中期行動計画確認
- c) 広報専門委員会活動

ワーキング(WG)を構成して活動するこ

ととし、4つのWGの実施計画の具体的な広報活動のほか、建設関連業イメージアップ促進協議会の活動計画について報告。

d) 広報事業専門委員会

建コンフォト大賞、フォト大賞Jr.、学生論文の募集ならびに入賞作品の活用等について報告。

e) 会誌編集専門委員会

協会広報誌「Consultant」の平成29年度特集テーマと今後発行予定の書籍「土木遺産VI(アメリカ・オセアニア編)」についての準備状況を報告。

(2) 第2回広報戦略委員会(平成29年12月)

支部広報活動および各専門委員会活動の中間報告と平成30年度の事業計画案ならびに予算策定方針、所要額調書を審議した。

a) 広報専門委員会活動

国交省・他協会とともに大学等で実施中の業界説明会の状況とアンケート調査結果について報告。また、学生向けリクルート用PPT資料や学生向けリーフレット・ポスターの制作状況を報告。フォト大賞入選作品によるカレンダーの制作、学びのフェス2018春への出展計画を報告。協会JCCAマークの商標登録出願状況についての報告。協会HPのトップ画面改善案の報告。

b) 広報事業専門委員会

フォト大賞、フォト大賞Jr.、学生論文の応募結果、それぞれの審査結果を報告。また、フォト大賞応募作品の活用方法や展示会の報告。さらに、第10回建コンフォト大賞特別企画の提案内容について審議。協会誌277号に対するモニタリング結果と指摘事項について報告。

c) 会誌編集専門委員会

直近の広報誌発行状況や今後の発行計画を報告。また、JAPICからの国土・未来プロジェクトに関する投稿内容を報告。

(広報戦略委員会委員長 野崎 秀則)